

科目名	科学史	
担当者	八田 明夫 / HATTA, Akio	
科目情報	教養科目3群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
	学芸員科目 / 選択 (法定科目名「自然科学史」)	
科目概要	授業内容	物質の本質についての物質観, 物体の運動やエネルギーについての運動観、生命の歴史についての生命観, 地球や宇宙の進化についての地球・宇宙観に関する科学の歴史を学ぶ。
	到達目標	物質観, 運動観, 生命観, 地球・宇宙観に関して, 自分なりの説明ができるようになること。
授業計画	(1) 物質を人はどう捉えてきたか(1)古代のバビロニア・エジプト (2) 物質を人はどう捉えてきたか(2)ギリシア・アテナイ・ローマ (3) 物質を人はどう捉えてきたか(3)錬金術から化学革命へ (4) 運動を人はどう捉えてきたか(1)運動と変化の区別 (5) 運動を人はどう捉えてきたか(2)インペトウス (6) 運動を人はどう捉えてきたか(3)ニュートン力学 (7) 運動を人はどう捉えてきたか(4)相対性理論・量子論 (8) 生物を人はどう捉えてきたか(1)アリストテレスの生命観 (9) 生物を人はどう捉えてきたか(2)血液循環学説、生体の構造と機能 (10) 進化を人はどう捉えてきたか(1)細胞説、発生学、個体発生の研究 (11) 進化を人はどう捉えてきたか(2)種の進化、現代生物学 (12) 地球を人はどう捉えてきたか(1)丸い地球は早くから知られていた (13) 地球を人はどう捉えてきたか(2)地球の形から内部構造まで (14) 宇宙を人はどう捉えてきたか(1)コペルニクス以前の宇宙体系 (15) 宇宙を人はどう捉えてきたか(2)現在の宇宙観	
自学自習	事前学習	「科学の歴史に関する文献」を読んでおくこと。
	事後学習	新しく学んだ事項に関して、他の文献等ではどのように記述されているか学習すること。
使用教材・参考文献	メイスン「科学の歴史」(上・下)、 アイザック・アシモフ「科学と発見の年表」など。	
成績評価方法と基準	出席態度、小テストと試験で評価する。 3分の2以上の出席をすること。	
備考	教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	